



# 会報

第32号

平成10年3月

## アルテピア

社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北1条西17丁目 電話011-644-4025



ルイ・コムフォート・ティファニー 「ランプ・きばなふじ」

1900～1910年頃 径56.0cm

北海道立近代美術館蔵

ニューヨーク、5番街の宝石商ティファニー商会創立者の長男、ルイ・コムフォート・ティファニー(1848～1933)は、ヨーロッパ、アフリカ、日本などの美術や建築の影響を受けながら、室内装飾とガラス工芸において多彩な才能を発揮し、アメリカのアール・ヌーヴォーを代表する偉大なる芸術家として世界にその名を馳せる。

ティファニーのランプは、教会や一般住宅を飾るスタンドグラスに用いたガラス片の余りを利用して生まれたと言われている。これが電球の光で最大の効果を醸し出し、ティファニーのガラス芸術の中でももっと

も華やかな部分を占めている。

微妙なグラデーションをもつ小さな色ガラス片を鉛の枠にはめたふっくらとしたシェードは、もともと裾広がりのほっそりとしたブロンズの脚と組み合わせられていたと考えられる。しかしこの作品は、きらびやかなガラスのモザイク片を貼り付けたきわめて珍しい豪華なベースと組み合わせられている。

ティファニーが依頼を受けたキューバ・プロジェクトと呼ばれる大統領官邸の室内装飾の中の一連のランプのひとつとも考えられる興味深い作品である。

# 支えあって.....20年

今年度、当協力は創立20周年を迎え、これを記念して各種事業が行われた。この記念事業の目的は、協力の会員拡大と知名度を高めることを大きな柱とし、「記念事業推進委員会」を設置、全理事及びボランティア7部の各部長を委員とし、事業毎の担当理事の中から代表を決め事業が進められた。

当初は模索の感があったが、全事業キャンペーン用チラシの作成・配布の段階から具体的になってきた。配布は報道関係や会員のほか、延50余名のボランティアが6月上旬の2日間、札幌大通公園など7ヶ所で配ったが、これが新聞・テレビ等で一斉に報道され相乗効果の大きい街頭PRになって、道内各方面から反響があった。各事業の概要は次のとおりである。



## 青空写生会

こどもは天才

文字どおりの青空のもと、近代美術館と三岸好太郎美術館の前庭を会場に、小学生を対象とした「青空写生会」を七月十二日に開催した。テーマは「あなたの好きな美術館」。参加者は家族を含めて二百名を越え、その作品は、市資料館ミニギャラリーで八月五日〜十日まで展示、美術館協力会会長賞等二五名の表彰があった。まさに「こどもは天才」の感を強くした事業となった。



## 美術のみの市

一千人で賑わう

当初予定の八月十日は雨天で中止となったが、内外からの強い要望等もあって十月十日改めて開催した。当日は、六六に及ぶ出店であったが、またも雨模様のため、近代美術館の画期的な配慮により同館一階ロビーでオープンした。「雨天でも決行」のキャッチフレーズが功を奏したのか来店者は二千人を越え、限られた空間の中で人と人との間を近く感じさせてくれた。イベントになった。担当理事を中心にボラン



ティアは同じメンバーで半年以上に亘り企画・準備に当たったが、特に、「似顔絵コーナー」や「アルテピアバザール」そして「美術鑑定サービス」「チャリティーオークション」等は好評で、特設の「会員拡大コーナー」でも十一人の協力会入会者があった。この反響として、「美術館に親しんでもらうためにも、このような事業が毎年必要でないか」との声が多くあった。

## 三重の慶び

感謝状いただく

去る十一月、北海道教育委員会教育長から当協力の創立二〇周年を記念し感謝状の贈呈がありました。その趣意は「永年にわたり道立美術館事業活動の支援に積極的に取り組み、ボランティア養成や美術普及活動など、広く道民の美術に関する理解と関心を高める事業を進められ、本道美術文化の振興発展に大きく寄与されたので、その功績に深く敬意と感謝を表します」でした。六月に北海道博物館協会表彰、七月に道立近代美術館長より感謝状、そしてこのたび道教育長の感謝状と、まさに三重の慶びとなり意義深い二〇周年の年になりました。

## 美術館協力会賞の誕生

創立二〇周年を記念して「優秀な美術創作活動及び美術作品に対し顕彰、奨励する」目的の協力会賞を、「学生美術全道展」の最優秀者に贈った。

この初めての受賞者は、教育大岩見沢校一年の石垣亜希さんで、十月十二日全道展会場の札幌市民ギャラリーで贈呈した。副賞として当会企画の第十八回海外美術研修旅行（本年度はイタリア方面で十二月五日から十泊十二日間）に無料招待した。



### 特別講演会 「小説と私」

十一月十五日の午後から道新ホールを会場に開催された渡辺淳一氏を招いての講演会は「小説と私」というテーマで、約四百五十名の聴衆を魅了した。

渡辺氏は、昨年、全国的に話題となり、流行語にもなった、「失楽園」の小説執筆時のエピソード等を、独特の柔らかい口調で語り、時折、会場内が笑いの渦で包まれた。

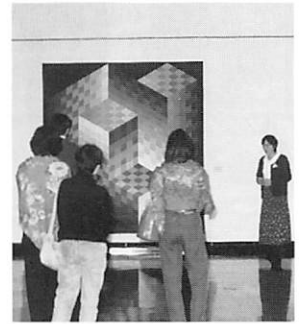
講演会に向けて、チラシの配布、当日の会場整理、受付等多くのボランティアが活躍した。



### 記念祝賀パーティー 二七〇名参加

これまで協力会総会後開催の「つどい」を拡大して、創立二〇周年の記念祝賀会を十一月二十日ホテル・ライフォート札幌で開催した。席上、十年以上永年協力の役員七名、ボランティア活動員四三名を表彰し記念品を贈呈、ついで、初めての美術館協力会賞を受賞した石垣亜希さんに、当会企画の「海外美術研修旅行」無料招待の副賞を贈呈した。

開宴後は、創設期の思い出話など和やかな雰囲気の中で親睦交流があり盛大な記念パーティーであった。



### 近代美術館 所蔵名品展共催

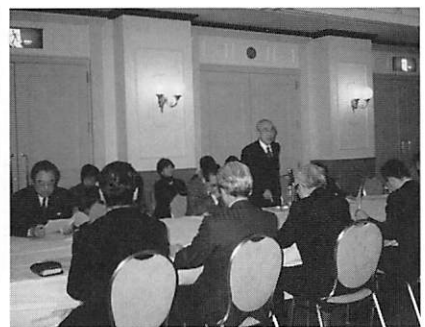
十一月二日から十九日間にわたり、近代美術館二〇周年記念として開催した「近美コレクションの精華」展を共催、図録も同時に販売された。

会期中、解説ボランティアがギャラリートツアーを行った。

### 美術秀作映画会

協力会の普及活動として、「さっぽろ映画フェスタ97」を後援、十一月二十四日札幌シネマアポロで「ゴッホ」が上映された。

迫力のある色彩の美しい映画で、満席の入場者は約二時間にわたり堪能した。



### 二〇周年記念事業 推進委員会開催

三月二日(月)「ホテル・モントレ札幌」で、二〇周年記念事業をしめくくる最後の推進委員会を開催。

推進委員会の委員長である武井協力会会長の挨拶の後、各事業について担当理事から具体的な報告があり、ついで記念事業会計の報告があった。

各事業がそれぞれ当初計画の目的を達成し成果があったこと、会計の適正な執行状況であったこと等から報告内容について承認され、次期理事会及び総会にその報告を決定した。

### ボランティアの活躍に敬意

各事業は、担当委員の創意と努力によりそれぞれ特色のある内容で展開され、予想以上の参加状況となるなど好評であった。とりわけボランティアの活躍は目覚ましく、そのサポートに心から敬意を表したい。

印象深い事業の例として「美術のみの市」が挙げられる。全道初めての催し物とあって、地元札幌のほか遠く釧路・旭川・そして小樽・千歳等から七〇を超える出店であったが、当初の予定日が雨天で中止となった。順延は、諸般の事情で当初から計画できずやむを得ないのだが・・・その後、内外からの強い要請と相俟って、リーダーである担当理事の采配とボランティアの熱意で消えかかった火を再燃させ復活、二、〇〇〇人を超える参加のイベントになった。

大きな目的の「会員の拡大」は、前年度二〇三名の会員加入に対し、本年度は約三〇〇名(2月末)になつて一応の成果を見たものの、依然として現会員の退会が多い状況であった。また「知名度を高める」については測り知れないが、各事業の予想を上回る参加状況などから、成果は十分あったものと思われる。このように各事業が所期の目的を達成し無事実施できたことは、多くの方々の暖かいご支援とご協力によるもので、心から感謝とお礼を申し上げますと共に、本道の美術文化の充実発展のため、今後も更なるご協力をお願いする次第である。

# MUSEUM

## INFORMATION

平成10年度上半期の展覧会の中から、各館が推薦する事業をお知らせします。

近代美術館では、室町文化を象徴する金閣・銀閣寺等に伝わる寺宝によって、日本美術の精華を展覧。

旭川美術館で開催される日本ではじめての本格的なメキシコ美術の展覧会を初め、各館で多彩な内容の美術展が企画されています。

## 近代美術館

大本山相国寺創建六百年／金閣寺  
創建六百年／銀閣寺創建五百年

### 大本山相国寺

#### 金閣・銀閣寺宝展

七月二五日(土)～八月三〇日(日)

金閣、銀閣は、將軍足利義満、義政によって造営された室町文化の象徴であり、日本の代表的な文化遺産のひとつとなっています。さらに、この金閣鹿苑寺、銀閣慈照寺、そして大本山である相国寺には、禅宗美術とともに、東山文化、北山文化を語るに欠かせない数々の名宝が伝えられています。

たとえば、禅宗の頂像、墨蹟、禅宗絵画をはじめ、中国絵画や水墨画の名



長谷川等伯筆「竹林猿猴図屏風」

品、足利義満・義政の唐物趣味を反映する工芸品など、室町時代から江戸時代にいたる貴重な絵画、工芸品を数多くみることが出来ます。また、相国寺と深いつながりをもっていた江戸奇想の画家、伊藤若冲の優品が所蔵されていることも、相国寺コレクションの大きな魅力といえるでしょう。

この展覧会は、こうした相国寺の寺宝から、国宝、重要文化財を含む約一二〇点の名品をよりすぐり、室町時代から江戸時代にかけての日本美術の精華を紹介するものです。

## 旭川美術館

### メキシコの美術：一九一〇～一九五〇

#### ー熱き絵筆が生んだ民衆の絵画ー

四月四日(土)～五月十日(日)

一九一七年は、日本人がメキシコに移住して百周年にあたります。その記念事業の一環として開催される本展では、一九二〇年から五〇年にかけての、多彩で熱気あふれるメキシコ美術の展開を、日本ではじめて本格的に紹介します。

一九一〇年に起こったメキシコ革命は、それまで白人に抑圧されていたメキシコ人の民族意識を強く目覚めさせました。その影響は芸術にも及び、一

## 函館美術館

### 山下りんとその時代展

八月一五日(土)～九月一三日(日)

山下りんは、明治一〇年に初めての女性画学生として工部美術学校に入学し、フォンタネージらの指導を受けました。その後ハリスタス正教の洗礼を受け、美術学校を中退しロシアで二年間にわたりアイコン画を学びます。帰国後は神田駿河台教会に居を構え、函館を含め、日本全国に竣工されたハリスタス正教会のためのアイコンを数多く制作しました。

本展では、それら国内各地のハリス



山下りん「至聖生神女之福音」

山下を取り巻く美術状況、時代性も展示します。

トス正教会が所蔵するアイコンやその下絵に加え、浮世絵を修練していた時代および美術学校時代の素描や版画などを通して、山下の画業を幅広く紹介します。さらに、師である中丸精十郎やフォンタネージ、また岡村政子、神中糸子を始めとする美術学校同期の女流画家の作品、ロシアで学んだ一九世紀当時のロシア・アイコンなどもとりあげ、



フリーダ・カーロ「アデリードとパンチ」

「アデリードとパンチ」は、幸いでした。

九二〇年代にはメキシコ・ルネサンスとも呼ばれる民族的でモニュメンタルな壁画運動がおこります。この運動を代表する三大巨匠リベラ、オロスコ、シケイロスの作品をはじめとして、本展では、彼らの後継世代として独自の芸術を開花させたタマヨやフリーダ・カーロの作品、民衆の生活を情感豊かにとらえた北川民次ら野外美術学校派の作品など約百点が展示されます。この機会に、エネルギーな魅力あふれるメキシコ美術の世界にぜひふれて

# 帯広美術館

## イギリス絵本の世界展

夢の記憶と出会うとき

北海道立帯広美術館では、四月一日(金)から五月一日(水)まで「イギリス絵本の世界展」を開催します。

絵本は子どもにとって美術の世界への最初の入口といえます。言葉とイメージが一体となった独自の表現は芸術的示唆に富み、多様で豊かな創造力と親しみやすさによって多くの子どもたちの心を自由な空想世界へと導いています。そこに描かれた幻想や伝説、身の回りの小さな物語には、生きる希望や困難に立ち向かう勇氣、人知を超ええるものへの畏怖や尊敬などさまざまなメッセージが込められており、子どもばかりでなく多くの大人を魅了してきました。幼

い頃に絵本から受けた深い感動は、大人になっても時に私たちに支え励ましてくれる心の財産といえましょう。

この展覧会では現代の多彩な絵本文化の基礎を築いたイギリスに焦点を当て、「雪だるま」などの作品で日本でもよく知られているレイモンド・ブリッグズをはじめ、華麗な色遣いで絵本界に新たな時代をもたらしたブライアン・ワイルドスマイス、人間心理の深部を描き出したチャールズ・キーピングなど七人の作家の原画二二九点を紹介します。普段あまり目にするのではない絵本原画ならではの味わいと、現在も活躍を



レイモンド・ブリッグズ「雪だるま」  
の豊かなメッセ  
ージにあ  
ふれる絵本  
の魅力をお  
楽しみくだ  
さい。

# 三岸好太郎美術館

## 特別展

### 「蝶と貝殻」

#### 「三岸好太郎の夢の視覚詩」展

七月十七日(金)―八月三〇日(日)

短い画業のうちにさまざまに作風を変貌させた三岸好太郎は、亡くなる年の一九三四(昭和九)年に、蝶や貝殻をモチーフとする作品を集中して制作しています。「海と射光」「旅愁」などの油彩作品を独立展に発表したほか、さまざまな視覚的・超現実的なイメージに満ちた『蝶と貝殻(視覚詩)』という詩を創作し、さらに手彩色の『筆

彩素描集「蝶と貝殻」も刊行しました。そこには当時の前衛的美術思潮であったシュルレアリスム絵画の影響が見られるとともに、三岸独特のロマンティシズムと幻想性に満ち、繊細な感性と詩情をただよわせた新しい「視覚詩」の領域が生み出されています。

本展は、蝶と貝殻を主題とする油彩作品、筆彩素描集、関連資料などを集めて、天折の画家三岸好太郎が最晩年に繰り広げた夢幻的世界を紹介するものです。



三岸好太郎「海と射光」  
に繰り広げ  
た夢幻的  
世界を  
紹介する  
ものです。

# 札幌彫刻美術館

## 本郷 新が愛した石狩浜

小樽・春香山の

アトリエにおける制作活動

四月八日(水)―六月二一日(日)

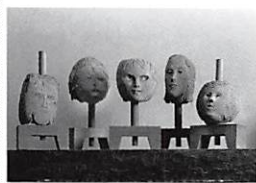
札幌出身の本郷 新は、東京の他に一九六五年石狩浜を見おろす小樽市春香山に窯のあるアトリエをつくり、テラコッタを制作しました。

戦後本郷 新が制作した彫刻は、「わだつみのこえ」をはじめ、札幌大通公園の「泉の像」など、公共空間に設置された記念碑性格の野外彫刻でした。そのような大作とは対極にあるテラコッタは、作家の自由な創造の中で

様々な造形を可能としました。

「テラコッタというものは、何となくその人の持っているむき出しのものがじかにでる。そこに行きたいですね。素朴で強いというのは一番ですよ。」と本郷 新自身が語っています。

粘土をこね、形の追求を気軽にできる面白さに、本郷 新は熱中しました。日本の造形を持つ「雪国」も樹脂で制作する前に、テラコッタによる習作を



本郷 新「土と火の祭り」  
す。この作品群に見られる三角錐と円柱の組み合わせは、一九七一年制作された札幌オリンピック記念の「花束」にいかされています。

# 芸術の森美術館

## 李禹煥全版画展 一九七〇―一九八

四月四日(土)―五月十日(日)

李禹煥(リー・ウーファン)は元来、韓国に生まれ、異年に来日、六十年代後半から美術家として本格的に活動を始めた。彼は三十年前後、石や紙、鉄板などに手を加えることなく、あるいは組み合わせるに止め、その「もの」の本来的な姿を明らかにしようとする「もの派」の一人として活躍しました。以来、作品とは、一方的に自己の内面を表したり、ある考えを示そうとするなど個人の主観や観念によるものではなく、作品を見る人にも画家自身にとっても「もの」や事象の「あるがままの世界」

に出会うための媒介的な働きをするものであるとの理論を展開してきました。また李禹煥は多くの版画も制作しています。作った版を紙などに摺ること

で出来上がる版画では、作家の肉筆が画面に残ることはありません。彼は自分の手が直に及ぶことのないこの間接性をとても重要視しています。彼の作品は全てが李禹煥という自己で覆い尽くされているのではなく、間接性によって版画に入り込む「他者性」との相互の係わりによって構成されているのです。



李禹煥画文集「東の扉」5  
余点による回顧的な展覧会です。

# MUSEUM CALENDAR

'98. 4月～'98. 10月

## 美術館の展覧会ご案内

	4	5	6	7	8	9	10
近代美術館	貸 館 4/22～5/24 イタリアの ガラス 1930-1970	5/30～7/5 加山又造展	貸 館 7/25～8/30 大本山相国寺 金閣・銀閣寺宝展	9/5～10/18 東郷青児展	貸 館		
旭川	4/4～5/10 メキシコの美術 1920-1950	5/16～6/14 ヒューマンイズムの系譜 -日本の具象彫刻 10人展 1930s-1950s	6/20～7/19 大和まほろば展	7/25～9/6 ムーミンと白夜の 国の子供たち—— -北欧の絵本3人展		9/19～10/18 美と土俗—— 近現代美術の 中の"日本"	
函館	4/7～5/10 梅原龍三郎展	5/16～6/21 オーブリー・ ピアズリー展	6/27～8/9 モディリアーニと その時代	8/15～9/13 山下りんとその時代	9/20～10/18 現代書の世界展 (展覧会名変更 の場合あり)		
帯広	4/10～5/13 イギリス絵本の世界展	5/22～6/17 北海道はどう 描かれてきたか	6/26～7/22 明治の浮世 絵版画	7/31～8/26 現代日本画 名品展	9/4～10/2 モネ、ルノワールと印象派の 画家たち		
三岸好太郎	4/2～7/12 所蔵品展 魅惑のポートレート ——人物像を中心に			7/17～8/30 蝶と貝殻 三岸好太郎の 夢の視覚詩	9/4～10/4 所蔵品展 上海旅情 -ロマンティシ ズムの開花		
札幌彫刻	4/8～6/21 本郷新が愛した石狩浜 -小樽・春香山の アトリエにおける制作活動		6/26～7/19 安倍安人展 -陶芸と 彫刻の稜線	7/24～8/23 本郷新展	8/28～10/11 第9回北の彫刻展		
札幌芸術の森	4/4～5/10 李禹煥全版画展 1970-1997	5/16～6/24 フィンランド・ファンタジー フィンランド心の風景 ノムミン谷の冒険		7/4～8/30 イサム・ノグチ展	9/5～10/11 菊地又男展		

近代美術館 札幌市中央区北1条西17丁目 地下鉄東西線「西18丁目駅」より徒歩5分 ☎ 011-644-6881

旭川美術館 旭川市常磐公園内 旭川電気軌道バス「4条4丁目」より徒歩4分 ☎ 0166-25-2577

函館美術館 函館市五稜郭町37-6 函館バス「公園入口」より徒歩3分 ☎ 0138-56-6311

帯広美術館 帯広市緑ヶ丘2番地 緑ヶ丘公園 JR北海道バス「美術館前」より徒歩1分 ☎ 0155-22-6963

三岸好太郎美術館 札幌市中央区北2条西15丁目 地下鉄東西線「西18丁目駅」より徒歩5分 ☎ 011-644-8901

札幌彫刻美術館 札幌市中央区宮の森4条12丁目 市営バス「彫刻の美術館入口」より徒歩10分 ☎ 011-642-5709

札幌芸術の森 札幌市南区芸術の森2丁目75番地 中央バス「芸術の森入口」か「芸術の森センター」で下車 ☎ 011-592-5111

絵画との出会い



水野 明子

私は小さい頃から芸術的教科は苦手で、中でも図工・書道はその時間がとても苦痛であった。基礎的な知識は皆無に等しかったのではないかとと思われる。倅いと云ってよいのか、高校に入って両教科共、選択科目で苦手意識が解決せぬままに子育ての時期に入った。子供達も成長し、娘が幼稚園に勤

めるようになって沢山の作品に目を通すようになった。二人で連れだって美術館にも行く機会に恵まれた。「小倉遊亀」「いわさきちひろ」の絵を見るうちに何と暖かい感情の昂ぶりを覚えた事か、「シャガール」の情熱的な彩使いに出会った時のときめき等々。それ以来自分では描く事が出来なくても佳い作品に触れる事で充分心の糧となる事を知りました。これからも何時迄も若々しく美しい感性を養う為にも機会をみては沢山の絵画に出会えるように心掛けて行き度いと願う此の頃です。

初の美術研修旅行



教育大岩見沢校1年 石垣 亜希 (美術館協励会賞受賞者)

私が「学生美術全道展」に応募したのは、三回目で、今までの二回は入選でした。だから、今年も入選できればいいな、と思っていたので、最高賞の知らせのときは「信じられない」という気持ちでいっぱいでした。そして、海外美術研修旅行までも……。

イタリアでは、沢山の作品を見る事ができ、『最後の審判』の修復体験なども聞くことができ、大変勉強になりました。また、本で見かけたことがなかった有名な絵を目の前にしたときは、夢みたいで、あまりの感動に、声も出ませんでした。イタリアは、料理がとても美味しく、建物や町並の雰囲気もすごく気に入って、一生のうちに、あと二、三回は是非行きたいと思っています。イタリアで、多くの絵を見て学び感じたことを、これからの自分にかしていきたくです。素晴らしい体験をさせて頂き、本当に有難うございました。

新会員紹介

平成9年8月～平成10年2月 (敬称略)

—ご入会ありがとうございました—

Table listing new members by month (8月, 9月, 10月, 11月, 12月, 1月) and location (e.g., 札幌市, 函館市, 室蘭市).

美へのかけ橋

# アルテピア会員募集

私たちが好きな絵を

～1977年設立主旨～

## 新会員の声

「のみの市」で皆の熱意が伝わった。美術館へはよく行っていたので、協力会はよいものと思った。機会があれば美術館の催しに参加したい。

中野 英俊

ボランティアとして活動している友達をみて、その方達と同じ気持ちで北海道の美術に協力できればうれしい。

戸谷 真知子

(会員申込み 札幌市中央区北1条西17丁目 電話 011-644-4025)



近代美術館売店商品

## 編集後記

単なる記念事業とせず、会員の拡大と協力会の知名度アップを目的とした事業内容のこともあって、バラエティに富んだ好評の記念事業でした。その状況を詳細に、そして数多くのエピソード等を掲載したかったのですが、紙面の都合で「概要」にとどまっています。ページ数を増やすには…その財源は…結論的には会員増です。

協力会も二〇歳になり、成人の二一年から新たな視点で会の維持発展に努めなければならぬが、やはり課題は「会員拡大」です。不況のこの時代の会員拡充は、困難性を倍加しますが、展望の開けないときこそ、心の豊かさの涵養が大切ではないでしょうか。

広報部編集担当一同、会員皆様からの積極的な提言・意見等の投稿をお待ちしている日々です。

## 第16回 美術研修の旅

平成10年 5月26日～29日  
(3泊4日)

— 神戸・大津・名古屋 —

400年の英国絵画の粋を堪能  
「テート・ギャラリー展」

～兵庫県立近代美術館～

その他

名古屋市美術館・大津絵美術館  
神戸市立博物館など見学

企画 (社)北海道美術館協力会